

施策名：安全で快適な交通社会の実現

事業名	担当課・局・室名	ページ
交通安全緊急対策事業	生活環境企画課	2 / 6
おこさず・あわず・事故ゼロ運動推進事業	生活環境企画課	3 / 6
違法駐車対策推進事業	交通指導課	4 / 6
交通安全施設整備事業	交通規制課	5 / 6
交通安全施設等整備事業	道路保全整備室	6 / 6

事業名	交通安全緊急対策事業	事業期間	平成 20 年度～平成 年度	上位の施策名	安全で快適な交通社会の実現
				担当課・局・室名	生活環境企画課

[目的、現状・課題]

目的	対象	県民	現状・課題	依然として全交通事故死者数に占める高齢者の割合は高く、高齢者が被害者、加害者となる交通事故は高水準で推移している。また、飲酒運転による交通事故はここ数年下げ止まり状態であることから、引き続き高齢者の交通事故防止対策及び飲酒運転根絶対策を推進する必要がある。
	意図	交通事故をなくす		

[事業の実施状況]

(単位：千円)

活動名	活動内容	執行形態	事業主体	コスト	22年度	23年度	24年度	25(予算)
飲酒運転根絶に関する広報啓発 高齢者に対する交通安全教育 高齢運転者免許自主返納支援	飲酒運転根絶県民大会の開催(参加者約200人) 飲酒運転根絶キャンペーンの実施(11/20～1/4) 飲酒運転根絶功労者表彰(事業者2、団体1) 歩行者対策(体感型交通安全教室開催)(18市町村) 運転者対策(高齢運転者免許自主返納支援事業) ・コミュニティバスの運行充実、サポート加盟店の拡充 ・自主返納支援制度の広報	直接実施	県	総コスト	13,141	13,580	13,619	13,775
				事業費	1,141	1,580	1,619	1,775
				うち一般財源	1,141	1,580	1,619	1,775
				うち繰越額				
				人件費	12,000	12,000	12,000	12,000
職員数(人)	1.20	1.20	1.20	1.20				

「うち一般財源」と「うち繰越額」は重複する場合がある。

[事業の成果等]

事業の成果	平成24年の飲酒運転による交通事故は、発生件数、負傷者数ともに前年比で増加したが、死者数は1人と昭和44年以降最少となった。また、高齢者の交通事故死者数は、全体の半数を占めたが、前年比で-1人、過去5年間平均との比較では-13.6人と大幅に減少するなどの成果を収めた。	活動指標	指標名(単位)		事業の実績		最終目標		
					23年度	24年度	目標値	目標年度	
			県民大会参加者数(人)		200	200			
			高齢運転者免許自主返納者数(人)		1,035	1,123	1,200		
			体感型交通安全教室参加者数(人)		1,142	1,126	1,300		
成果指標	指標名(単位)	達成度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終達成(年度)	評価	備考
	高齢者関係事故件数	目標値						達成	目標値がないのは、事故件数が不規則に上下しており、明確な目標値を定めることが困難であるため
		実績値	1,888	1,913	1,869				
		達成率							

[県が実施する必要性]

検証の視点	検証結果	活動根拠	説明
国・市町村・民間団体との役割分担を踏まえ、県による実施が必要か	県による実施が必要	交通安全対策基本法 大分県飲酒運転根絶に関する条例	交通安全対策は、交通安全対策基本法により、飲酒運転根絶対策は飲酒運転根絶に関する条例によりそれぞれ県の責務が定められている。また、交通安全対策は長期的かつ総合的に実施することが効果的であることから、県による実施が必要である。

[実施方法の効率性]

検証の視点	検証結果	24年度までの主な効率化の取組状況	効率性指標		左の計算式
事業の簡素化、実施方法の見直し(業務の民間委託など)を図っているか	図っている(拡大困難)	・県、県警、市町村との連携による体感型交通安全教室の実施(H21～)	22年度	24年度	実績値の減少を目的とする事業であり、総コストと実績値による効率性指標の算出が不適当であるため、指標を記入していない。

[総合評価]

方向性	現状維持	方向性の判断理由	飲酒運転根絶対策及び高齢者交通事故防止対策を引き続き実施する必要があるため
改善計画等	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の交通事故防止を図るため、危険予測トレーニング(脳トレ)や歩行環境シュミレーター等を活用した参加・体験型の交通安全教室を開催 ・高齢運転者免許自主返納支援に向けたサポート加盟店の拡充 ・高齢運転者免許自主返納支援に対する広報の効果を検証し、その結果を踏まえ、26年度の支援及び広報を実施 ・飲酒運転根絶県民大会や飲酒運転根絶キャンペーンを通して、飲酒運転根絶に向けた取組を促進 		

事業名	おこさず・あわず・事故ゼロ運動推進事業	事業期間	平成 11 年度～平成 年度	上位の施策名	安全で快適な交通社会の実現
				担当課・局・室名	生活環境企画課

[目的、現状・課題]

目的	対象	県民	現状・課題	交通事故の発生件数、死傷者数は減少傾向にあるが、交通死亡事故原因の約半数は前方不注視等の基本的な交通ルールの不遵守が占めており、また、飲酒運転事故は依然として後を絶たない状況にある。
	意図	交通事故をなくす		

[事業の実施状況]

(単位：千円)

活動名	活動内容	執行形態	事業主体	コスト	22年度	23年度	24年度	25(予算)
交通安全思想の普及 交通安全教育の推進 交通安全県民総ぐるみ運動の推進	広報啓発用資材の購入・配布、交通安全情報の提供 交通安全教育講師派遣(126回)、教育用ビデオ貸出(63回) 交通安全教育講師研修(16人)、交通指導員研修(153人) 市町村交通安全推進協議会等の活動支援 関係団体支援(大分県交通安全推進協議会、母の会)	直接実施	県	総コスト	40,849	41,179	41,594	41,461
				事業費	5,849	6,179	6,530	6,461
				うち一般財源	5,849	6,179	6,530	6,461
				うち繰越額				
				人件費	35,000	35,000	35,000	35,000
職員数(人)	3.50	3.50	3.50	3.50				

「うち一般財源」と「うち繰越額」は重複する場合がある。

[事業の成果等]

事業の成果	県民の交通安全意識の高揚及び交通事故防止を図るため、四季の交通安全運動をはじめ、広報・啓発や交通安全教育等各種対策を推進した結果、平成24年中の交通事故発生件数、死者数、負傷者数はいずれも前年比で減少し、特に死者数は40人と昭和27年以降最少に抑止することができた。	活動指標	指標名(単位)		事業の実績		最終目標		
					23年度	24年度	目標値	目標年度	
			交通安全教育講師派遣回数(回)		125	126			
			交通安全教育用ビデオ貸出件数(件)		30	63			
			交通安全運動実施回数(回)		4	4			
成果指標	指標名(単位)	達成度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終達成(年度)	評価	備考
	交通事故死者数(人)	目標値	60	55	52	45		達成	
		実績値	65	45	40				
		達成率	92.3%	122.2%	130.0%				

[県が実施する必要性]

検証の視点	検証結果	活動根拠	説明
国・市町村・民間団体との役割分担を踏まえ、県による実施が必要か	県による実施が必要	交通安全対策基本法	交通安全対策は、交通安全対策基本法により県の責務と定められており、また、交通安全対策は県民総ぐるみの運動として長期的かつ総合的に展開する必要があることから、県による実施が必要である。

[実施方法の効率性]

検証の視点	検証結果	24年度までの主な効率化の取組状況	効率性指標	左の計算式
事業の簡素化、実施方法の見直し(業務の民間委託など)を図っているか	図っている(拡大困難)	・関係団体と印刷物を共同印刷しコストを削減	22年度	24年度
				実績値の減少を目的とする事業であり、総コストと実績値による効率性指標の算出が不適当であるため、指標を記入していない。

[総合評価]

方向性	現状維持	方向性の判断理由	交通事故死者数及び交通事故総量の抑止を図るため
改善計画等	・「第9次大分県交通安全計画」の抑止目標(死者数45人以下、死傷者数6,500人以下)の実現に向けた総合的な交通安全対策の推進		

事業名	違法駐車対策推進事業	事業期間	平成 18 年度～平成 年度	上位の施策名	安全で快適な交通社会の実現
				担当課・局・室名	警察本部 交通指導課

〔目的、現状・課題〕

目的	対象	自動車の運転者	現状・課題	県民が安全かつ安心して道路を利用できる交通社会を実現するために本事業を実施しているが、過去3年間の大分市中心部における違法駐車台数は、年々減少傾向にある。
	意図	違法駐車をさせない		

〔事業の実施状況〕

(単位：千円)

活動名	活動内容	執行形態	事業主体	コスト	22年度	23年度	24年度	25(予算)
放置車両の確認事務	大分市中心部における放置車両の確認事務 委託先：日本不動産管理株式会社	一部委託	警察本部	総コスト	51,363	47,337	46,088	46,525
				事業費	42,863	38,837	38,788	39,225
				うち一般財源	0	0	0	0
				うち繰越額				
				人件費	8,500	8,500	7,300	7,300
職員数(人)	0.85	0.85	0.73	0.73				

「うち一般財源」と「うち繰越額」は重複する場合がある。

〔事業の成果等〕

事業の成果	違法駐車対策事業の開始とともに放置車両の確認事務の民間委託を行った結果、大分市中心部における瞬間路上駐車台数は、委託前の461台から179台(24年度調査)まで減少した。	活動指標	指標名(単位)		事業の実績		最終目標			
			23年度	24年度	目標値	目標年度				
			放置車両確認標章貼付件数(件)	2,216	1,846					
成果指標	指標名(単位)	達成度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終達成(年度)	評価	備考	
			目標値	188	188	188				179
			実績値	286	204	179				
			達成率	65.7%	92.2%	105.0%				0.0%

〔県が実施する必要性〕

検証の視点	検証結果	活動根拠	説明
国・市町村・民間団体との役割分担を踏まえ、県による実施が必要か	県による実施が必要	道路交通法	道路における危険を防止し、交通の安全と円滑を図るためには、今後も本事業を継続する必要がある、また、事業の特殊性から、当然に警察が取り組むべき事務であることから、県による実施が必要である。

〔実施方法の効率性〕

検証の視点	検証結果	24年度までの主な効率化の取組状況	効率性指標		左の計算式
事業の簡素化、実施方法の見直し(業務の民間委託など)を図っているか	一部図っている(拡大可能)	・22年度から3年間の長期委託契約を締結 ・放置駐車違反管理システムの導入(警察庁とのオンライン化)による業務の合理化	22年度	24年度	総コスト/瞬間路上駐車台数の減少値(事業開始前-対象年度) (事業開始前(17年度)=461台)
			294千円/台	163千円/台	

〔総合評価〕

方向性	現状維持	方向性の判断理由	現状の違法駐車台数減少傾向を維持するため
改善計画等	<ul style="list-style-type: none"> ・25年度から大分駅南地区の開発に伴う民間委託範囲の拡張 ・違反状況に応じた効率的かつ重点的な取組み 		

事業名	交通安全施設整備事業	事業期間	昭和 4 6 年度～平成 年度	上位の施策名	安全で快適な交通社会の実現
				担当課・局・室名	警察本部 交通部 交通規制課

[目的、現状・課題]

目的	対象	県民	現状・課題	高齢社会の進展に伴い、高齢者の死亡事故が多発しているほか、交通事故による負傷者数が高い水準で推移している。
	意図	快適な交通社会の中で安全に暮らせる		

[事業の実施状況]

(単位：千円)

活動名	活動内容	執行形態	事業主体	コスト	2 2 年度	2 3 年度	2 4 年度	2 5 (予算)
ゾーン対策の推進 歩行空間のバリアフリー化の推進 事故危険箇所対策の推進 交通円滑化対策の推進	ゾーン30・最高速度30km/h区間規制の実施(5箇所) 視覚障害者用誘導標示 (59 枚) 信号機の新設 (30 基) ・高度化 (74 基) 交通管制エリアの高度化 (10 基)	直接実施	警察本部	総コスト	1,409,233	900,688	832,718	835,675
				事業費	1,394,233	885,688	817,718	820,675
				うち一般財源	155,774	249,655	173,365	201,797
				うち繰越額	649,706	50,000		33,716
				人件費	15,000	15,000	15,000	15,000
				職員数 (人)	1.50	1.50	1.50	1.50

「うち一般財源」と「うち繰越額」は重複する場合がある。

[事業の成果等]

事業の成果	高齢者等の事故防止を図るため、生活道路における道路標識・標示の高輝度化を実施するとともに、ゾーン30規制の実施、信号機の新設、高度化を推進するなど交通環境の改善を行った。	活動指標	指標名 (単位)		事業の実績		最終目標		
					2 3 年度	2 4 年度	目標値	目標年度	
			信号機の設置数 (基)		30	30			
			信号機の高度化数 (箇所)		76	74			
			道路標識の整備数 (本)		1,615	429			
成果指標	指標名 (単位)	達成度	2 2 年度	2 3 年度	2 4 年度	2 5 年度	最終達成 (年度)	評価	備考
	交通事故死傷者数 (人)	目標値	9,000	8,500	8,000	7,500		達成	
		実績値	8,306	8,118	7,891				
		達成率	108.4%	104.7%	101.3%				

[県が実施する必要性]

検証の視点	検証結果	活動根拠	説明
国・市町村・民間団体との役割分担を踏まえ、県による実施が必要か	県による実施が必要	交通安全対策基本法、交通安全施設等整備事業の推進に関する法律	交通安全に関する施策の実施は、交通安全対策基本法により地方公共団体の責務とされている。また、信号機及び標識、標示の設置は、道路交通法、標識令により公安委員会の権限に属する事務とされていることから、県による実施が必要である。

[実施方法の効率性]

検証の視点	検証結果	2 4 年度までの主な効率化の取組状況	効率性指標		左の計算式
事業の簡素化、実施方法の見直し (業務の民間委託など) を図っているか	図っている (拡大困難)	・施工箇所・事業内容の集約発注等によるコスト削減 ・信号灯器の L E D 化による電気料金等のコスト削減	2 2 年度	2 4 年度	総コスト / 成果指標の実績値
			170 千円/人	106 千円/人	

[総合評価]

方向性	見直し (2 5 年度) 事業内容の拡充	方向性の判断理由	第9次大分県交通安全計画に基づき交通安全対策を更に推進するため
改善計画等	<ul style="list-style-type: none"> ・ゾーン対策の推進 ・自転車の通行環境整備に向けた安全施設の整備 ・交通安全施設の整備において、施工箇所・発注方法等引き続きコスト削減を検討 ・2 5 年度から信号灯機の L E D 化等、信号機の改良・高度化を更に推進 		

事業名	交通安全施設等整備事業	事業期間	平成	年度～平成	年度	上位の施策名	安全で快適な交通社会の実現
						担当課・局・室名	道路保全整備室

[目的、現状・課題]

目的	対象	一般国道、主要地方道、一般県道	現状・課題	交通事故件数は依然として高い水準で推移しており、歩行者や自転車利用者の死亡事故の割合が高い。そのため、交通事故の増加傾向に歯止めをかけ、歩行者、自転車、高齢者等の利用にも配慮した整備を推進しなければならない。
	意図	路上での交通事故防止を図る		

[事業の実施状況]

活動名		活動内容	執行形態	事業主体	(単位：千円)				
(公)地域活力基盤交通安全事業		歩道、自転車歩行者道、交差点改良等	直接実施	県	コスト	22年度	23年度	24年度	25(予算)
(公)地域活力基盤舗装道補修事業		既設舗装の補修			総コスト	8,450,502	7,349,478	6,969,185	12,606,234
(公)交通安全事業		歩道、自転車歩行者道、交差点改良等			事業費	8,450,502	7,349,478	6,969,185	12,606,234
(単)交通安全事業		道路付属物・道路防災施設の整備、交通安全施設の維持・補修			うち一般財源	631,373	682,100	740,458	1,186,497
(単)弱者事故対策事業		乱横断防止柵、カラー舗装等の交通弱者事故対策			うち繰越額	2,862,846	2,045,410	1,511,724	5,050,825
(単)側溝整備事業		道路側溝の整備			人件費	0	0	0	0
(単)舗装道補修事業		既設舗装の補修			職員数(人)				

「うち一般財源」と「うち繰越額」は重複する場合がある。

[事業の成果等]

事業の成果	<p>特定交通安全施設等整備事業の推進に関する法律に基づき、歩道・自転車歩行者道の整備、交差点の改良、道路標識の設置等、交通安全施設を整備し、歩行者等の安全確保と交通事故防止を図った。</p> <p>成果については、下記の表のとおり。</p>
-------	---

[成果指標・実績]

路線等の概要

(公)地域活力基盤交通安全事業	交通安全	国道213号ほか21路線	全29箇所
	災害防除	国道212号ほか26路線	全161箇所
	修繕	国道213号ほか5路線	全7箇所
(公)地域活力基盤舗装道補修事業	国道	国道213号ほか10路線	全25箇所
	県道	主要地方道別府一の宮線ほか3路線	全15箇所
(単)交通安全事業	交通安全	主要地方道豊後高田安岐線ほか県内一円	県内一円
	災害防除	主要地方道飯田高原中村線ほか78路線	全51箇所
(単)弱者事故対策事業	国道	国道197号ほか10路線	全41箇所
	県道	主要地方道豊後高田安岐線ほか31路線	全53箇所
(単)側溝整備事業	国道	国道496号ほか15路線	全16箇所
	県道	主要地方道豊後高田安岐線ほか27路線	全28箇所
(単)舗装道補修事業	国道	国道502号ほか11路線	全48箇所
	県道	一般県道大分狭間線ほか58路線	全59箇所